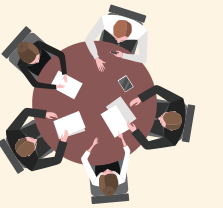


# よりよい職場づくり

誰もが働きやすく、能力を発揮しやすい職場をつくりたい。  
災害時の安全対策はもちろん、さまざまなリスクにも強くありたい。  
万が一に備えた体制整備も、企業としての責任だと考えています。

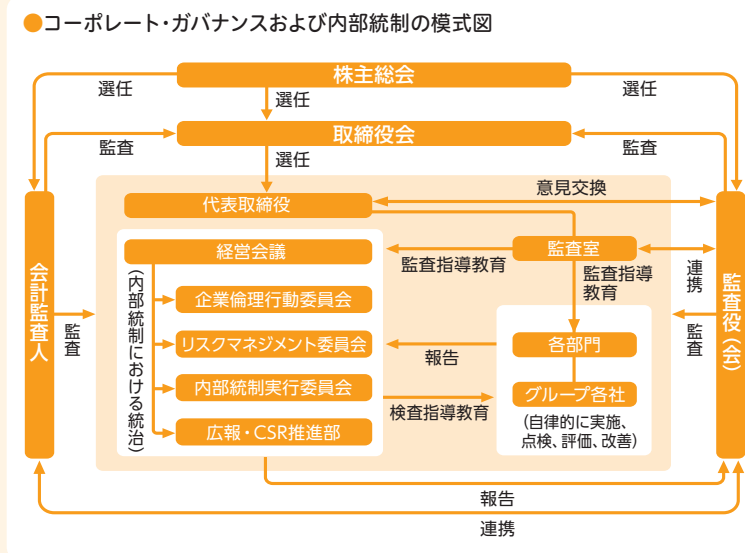


## マネジメント 体制について



## コーポレート・ガバナンス

当社では、多様なステークホルダー（利害関係者）と良好な関係を築くとともに、的確な経営の意思決定、それに基づく業務遂行、適正な監督・監査を可能とする経営体制を構築し、総合的なコーポレート・ガバナンスの充実を図っています。

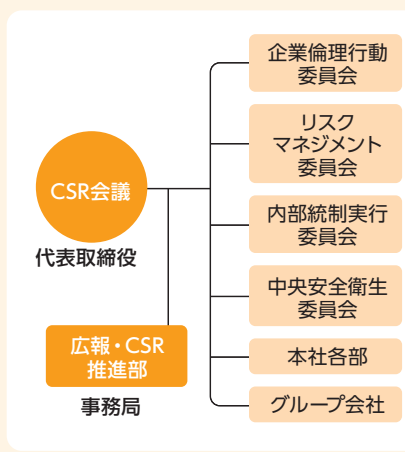


## 内部統制システム

内部統制システムの強化と、社会的信頼の獲得を目的とした「北海道コカ・コーラグループコンプライアンス管理基本規程」を、また、金融商品取引法に対応するための「内部統制の基本方針書」を策定し、財務報告に関わる内部統制の適切な整備・運用および、その評価・報告を継続して行うよう努めています。

## CSR会議

CSR経営を推進する上での現状分析と課題の抽出に取り組み、地域に貢献する企業市民として適切な活動ができるよう、各委員会や本社各部門・グループ各社で構成する「CSR会議」を定例開催し、グループ全体として組織的なCSR活動を展開しています。



## 万が一の リスクに備えて 危機管理体制の強化



当社では「リスクマネジメント方針」を定めており、天災や製品事故等が発生した際は、リスクマネジメント委員会が主導して、ただちに部門横断的に対応する体制を構築しています。また、コカ・コーラシステムがリスクマネジメントおよび危機管理プログラムとして定めているIMCR (Incident Management & Crisis Resolution) を運用。全社員に浸透するよう、IMCRTトレーニングを年に2回、開催しています。

## 避難訓練

全事業所で、毎年避難訓練を実施しており、火災発生に伴う初期消火活動と消防への通報、避難指示のアナウンスなどの確認を行っています。また、本社では消防署の立ち会いのもと、グループ会社を含めた総合防災訓練を行っており、大規模地震を想定して、自衛消防隊の指揮・命令系統、被害者救助の救済体制などを確認しています。



## 営業車両に 防災グッズ

災害の発生時には、社員一人ひとりの安全をいち早く確認するために、携帯電話への一斉配信による安全確認を行います。また、災害時に不足が予測される物品を各事業所に備蓄し、社員の安全を確保。配送トラックや営業車両などにも非常食や折りたたみ式スコップ、防寒用アルミシート、携帯トイレ、携帯電話用充電機などの防災用品を配備しています。



## 働きやすい職場 を目指して

社員が働きながら高度な専門能力を習得していくことを目的に、2011年から「グローバル人材育成制度」をスタート。「MBAコース」や「語学コース」に加えて、「海外研修コース」も開設しました。また、「女性社員のために活躍支援ミーティング」を開催しているほか、通信教育費の一部を会社で負担し、自己啓発や多様な資格の取得を奨励しています。

## ワーク・ライフ・ バランス

「育児・介護休業法」の定めに基づいた育児休業制度をはじめ、介護休業制度、子どもの看護休暇や所定労働時間を最大3時間短縮する育児短時間勤務制度を整備。さらに、所定外労働時間の免除や育児のための時差出勤制度を設け、仕事と家庭の両立を全面的に支援しています。



## コラム COLUMN

### 札幌東事業所が 2017年1月に竣工

業務効率の向上を基本コンセプトに、新たな営業拠点を札幌市東区に開設しました。コミュニケーション向上と生産性の向上の為、ワンフロア設計となっており、社員にとって働きやすい事業所となっています。

また、環境に配慮した省エネ設備の積極的な導入、BCPの視点を取り入れた設備を備えることで、より地域に根差した事業所を目指しています。



札幌新事業所

## 社員の声 VOICE

### 子育ての経験を仕事に 活かせるよう頑張りたい



営業統括本部 第二本部  
カスタマーセンター  
大場 真梨

約一年の産休・育休後に復職し、育児短時間勤務制度を利用して勤務しています。職場復帰を通じて感じたのは「これからはもっと働き続けたい」ということ。通常よりも早い時間に退社することで、子どもとの時間を大切にしながら、ワーク・ライフ・バランスを意識して働いています。

育児による時間の制約もありますが、周りの皆さまに支えられて乗り越えており、日々感謝しております。子育ての経験を今後のキャリアに活かすことで恩返しをしていきたいです。

これからも本制度の活用をはじめ、家庭と仕事の両方を大切にしながら働く方が増えてほしいと思います。私自身が支える側として会社の次の世代へ貢献していきたいと思っています。